

【初试】2026 年 北京邮电大学 825 专业日语考研精品资料

说明：本套资料由高分研究生潜心整理编写，高清电子版支持打印，考研推荐资料。

一、考研真题及考研大纲

1. 北京邮电大学 825 专业日语 2019、2021-2024 年考研真题，暂无答案。

说明：分析历年考研真题可以把握出题脉络，了解考题难度、风格，侧重点等，为考研复习指明方向。

2. 北京邮电大学 825 专业日语考研大纲

①2025 年北京邮电大学 825 专业日语考研大纲。

说明：考研大纲给出了考试范围及考试内容，是考研出题的重要依据，同时也是分清重难点进行针对性复习的推荐资料，本项为免费提供。

二、2026 年北京邮电大学 825 专业日语考研资料

3. 825 专业日语考研复习相关资料[考研核心题库]

3-1、2026 年专业日语考研核心题库[词汇+语法+翻译+阅读理解+写作]

①2026 年研究生考试专业日语考研核心题库[词汇]题库及答案解析

②2026 年研究生考试专业日语考研核心题库[语法]题库及答案解析

③2026 年研究生考试专业日语考研核心题库[翻译]题库及答案解析

④2026 年研究生考试专业日语考研核心题库[阅读理解]题库及答案解析

⑤2026 年研究生考试专业日语考研核心题库[写作]题库及答案解析

说明：专业课强化辅导班使用。最新最全考研复习题库，均含有详细答案解析，考研首选。

三、资料全国统一零售价

本套考研资料包含以上部分(不含教材)，全国统一零售价：[¥]

四、2026 年研究生入学考试指定/推荐参考书目(资料不包括教材)

北京邮电大学 825 专业日语考研初试参考书

暂不指定参考书。

五、本套考研资料适用院系

人文学院

六、本专业一对一辅导(资料不包含，需另付费)

提供本专业高分学长一对一辅导及答疑服务，需另付费，具体辅导内容计划、课时、辅导方式、收费标准等详情请咨询机构或商家。

七、本专业报录数据分析报告(资料不包含，需另付费)

提供本专业近年报考录取数据及调剂分析报告，需另付费，报录数据包括：

①报录数据-本专业招生计划、院校分数线、录取情况分析 & 详细录取名单；

②调剂去向-报考本专业未被录取的考生调剂去向院校及详细名单。

版权声明

编写组依法对本书享有专有著作权，同时我们尊重知识产权，对本电子书部分内容参考和引用的市面上已出版或发行图书及来自互联网等资料的文字、图片、表格数据等资料，均要求注明作者和来源。但由于各种原因，如资料引用时未能联系上作者或者无法确认内容来源等，因而有部分未注明作者或来源，在此对原作者或权利人表示感谢。若使用过程中对本书有任何异议请直接联系我们，我们会在第一时间与您沟通处理。

因编撰此电子书属于首次，加之作者水平和时间所限，书中错漏之处在所难免，恳切希望广大考生读者批评指正。

目录

封面.....	1
目录.....	4
北京邮电大学 825 专业日语历年真题汇编.....	5
北京邮电大学 825 专业日语 2024 年考研真题（暂无答案）.....	5
北京邮电大学 825 专业日语 2023 年考研真题（暂无答案）.....	16
北京邮电大学 825 专业日语 2022 年考研真题（暂无答案）.....	28
北京邮电大学 825 专业日语 2021 年考研真题（暂无答案）.....	38
北京邮电大学 825 专业日语 2019 年考研真题（暂无答案）.....	47
北京邮电大学 825 专业日语考研大纲.....	61
2025 年北京邮电大学 825 专业日语考研大纲.....	61
2026 年北京邮电大学 825 专业日语考研核心题库.....	62
825 专业日语考研核心题库之[词汇]精编.....	62
825 专业日语考研核心题库之[语法]精编.....	78
825 专业日语考研核心题库之[翻译]精编.....	94
825 专业日语考研核心题库之[阅读理解]精编.....	99
825 专业日语考研核心题库之[写作]精编.....	137

北京邮电大学 825 专业日语历年真题汇编

北京邮电大学 825 专业日语 2024 年考研真题（暂无答案）

北京邮电大学

2024 年硕士研究生招生考试试题

考试科目：825 专业日语

请考生注意：①所有答案(包括选择题和填空题)一律写在答题纸上，否则不计成绩。

②不允许使用计算器。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(每小题 3 分，共 21 分)

文章を書く際に、文末をどのように結ぶか、というのは常に大きな悩みの種である。誰でも一度は、書いた文章を少し醒めた目で読み返し、「一である」がやたらに乱発されているのに気がついて、「何を偉そうに…」という違和感を覚え、__①__にいたたまれない思いをした経験があるのではないだろうか。

おそらく原因は文章が未熟だから、ということだけにあるのではないだろう。そこには書き手の判断をどのように、あるいはどこまで打ち出していくかをめぐる、②現代日本語の宿命的な困難が潜んでいるように思われるのである。

たとえば「一なのである」「一なのだ」という断定を「一と思われる」「一と考えられる」などに置き換えてみると“気恥ずかしさ”が多少とも減じるような気がするのにはなぜなのだろう。自分の見解が一般的な妥当性を持っているかのように装うことができ、ひとまず安心するからなのだろうか。あるいはその背後では、主観的な判断と客観的な妥当性との間にいかに折り合いをつけるかをめぐる、ギリギリの駆け引きが展開されているのではあるまいか。おそらくそこで問われているのは、たしかにあるはずの「私」の判断を、あたかもない“かのように”装ってみせる強かな技術なのである。

古文ならば「なり」「たり」あるいは「候」という定型表現で解決していたはずのこの問題は、近代になってなまじ__③__を一致させようという改革が始まってしまったために、④あたかもパンドラの箱を開けたように、一気に表に吹き出してきてしまった観がある。「一である」を段落の最後の文章だけに使ってみたり、動詞の終止形を織り交ぜてみたり、体言止めを取り入れてみたり、おそらくわれわれは「偉そうに」見えてしまう突出—「私」の判断の露骨表出—を避けるために、今後も様々な試行錯誤を繰り返していくに違いない。この問題に関してはいまだ大方の合意があるわけではなく、長い歴史で見れば、「言文一致体」はまだ形成過程にある、はなはだ__⑤__な文体なのである。

——安藤宏『私』をつくる近代小説の試み(2015)より、一部改変

問 1 空欄__①__に入る言葉として最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 正義感 2 気恥ずかしさ 3 気難しさ 4 自律感

問 2 傍線②「現代日本語の宿命的な困難」の説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 文章を書くのが不得手であったとしても、「である」「だ」という文末表現で偉そうに書かなければならないという現代日本人にとって不可避な問題。
2 近代以来、「言文一致」という改革によって、「ある」「だ」などの断定的表

現を、「思われる」「考えられる」等に書き換える問題。

- 3 文章を書くにあたり、「である」や「思われる」、さらには「体言止め」等の多様な文末表現をしなければならなくなってしまうという現代人が必然的に背負うべき問題。
- 4 古文では「なり」「たり」「候」等の定型表現で解決していたはずのものが、近代以来、断定表現を忌避するあまり、現在では婉曲表現の乱用が常態化しているという問題。

問3 空欄③に入るのに最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 「言（話し言葉）」と「文（書き言葉）」と
- 2 「言（書き言葉）」と「文（話し言葉）」と
- 3 話し言葉の言と書き言葉の言と
- 4 話し言葉の文と書き言葉の文と

問4 傍線④「あたかもパンドラの箱を開けたように」は、「直喩（明喩）」と呼ばれる表現である。これと同じ表現方法を用いたものを一つ選びなさい。

- 1 地球温暖化問題は年々深刻化しているようだ。
- 2 『三四郎』の描写にあるように、三四郎は何度も驚嘆した。
- 3 私が飼っているウサギの白さは、雪のごとし。
- 4 そのプロレスラーは世界最強であるそうだ。

問5 空欄⑤に入る言葉として最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 古色蒼然
- 2 不安定
- 3 革命的
- 4 簡潔

問6 文章の見出しとして最も適当なものを一つ選びなさい。

- 1 文末表現のゆれ
- 2 言文一致体の失敗
- 3 文末表現の混乱
- 4 「私」の隠し

問7 「言文一致」について、正しく説明するものを一つ選びなさい。

- 1 明治初期より行われた日本の「言文一致」運動は中国の「白話運動」の影響を受けて発生したものである。
- 2 「言文一致」運動は1990年代に入ってから起こった言葉の改良運動である。
- 3 二葉亭四迷を代表とする作家たちは言文一致体の確立に多大な貢献をした。
- 4 日本人が作った漢詩文も言文一致体の一種である。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（每小题2分，共20分）

様々な人間群像が登場して没落する①『平家物語』全編を通じて、殆ど影に隠れて、積極的なことはなにひとつ語らず、詠嘆も告白もしないが、それでいて誠に不気味な男が一人いる。言うまでもなく、②後白河法皇である。最も注目すべき事は、『平家物語』の作者が、後白河法皇の隠れた③動機や術策の裏側に目を注ぐということをや殆どしていないことである。いや、④それを術策として強調したことさえもない。当時の人々にとっては、これは思いも寄らぬ事であったのか、意識してそうしなかったの